

Basic information

法人設立年月日	2008年1月31日
指定年月日	2018年2月20日
資本金等	資本金 48,000千円
株主・構成団体等 (出資割合)	大津市(20.8%)・大津商工会議所(10.4%)・民間事業者(56.0%)・地域関係者(12.8%)
職員数	2名 (うち常勤1名、非常勤1名)

Project

1 テナントミックス事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ 拠点施設の活用によるまちなかへの誘導

琵琶湖が眺望できる「なぎさのテラス」や、国の登録有形文化財で歴史的価値が高い「旧大津公会堂」において、魅力ある飲食施設と周辺エリアが一体化したテナントミックス事業を行い、まちなかの活性化を図っています。



3 公共空間活用事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ 公共空間の活用による集客・交流機能を高める実証実験の実施

地域交流、地域活性化、経済への波及効果に結びつけ、継続的な賑わいの創出を図るため、琵琶湖湖岸・水辺空間、都市公園空間等の公共空間を活用した来訪者へのおもてなしや、大津の魅力を伝える実証実験事業を実施しています。

■ 法人の紹介

官民連携を基本とし、大津市中心市街地の活性化とまちづくりの推進にかかる事業を行い、「琵琶湖岸・港における集客交流機能の強化」、「駅・港を結ぶ動線上のリニューアル具現化によるにぎわいの創出」、「町家等の活用による複合的都市機能の充実」を実現します。

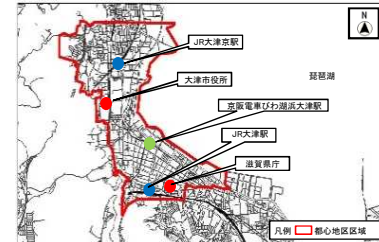
■ 官民連携による事業推進体制

行政や地域関係者と連携を図り調整を行ながら事業を実施しています。



■ 活動エリア (約461ha)

商業地・オフィス街・住宅地が複合する大津市中心部の約461haを活動エリアとしています。



Hot topic

■ 中心市街地における情報窓口になることを目指しています

商店街に事務所を移転したことを機会に、当社の取組みや地域で行われるイベント等の情報を届けるために「まちづくり大津通信」の発行を始めた。また事務所前にインフォメーションコーナーを設け、お知らせしたいイベント等のチラシを置いている。

2 まちなか回遊性向上事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ まちなかの賑わいづくりと回遊性の向上

道路管理者より道路占用許可を取り、浜大津こだわり朝市(京阪電車びわ湖浜大津駅前)、飲食店支援事業などを実施し、まちなかの集客の増加と回遊性の向上を図っています。



4 着地型観光試行事業

(収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地)

■ 選ばれる観光地となるためのファンをつくる取り組み

歴史・文化・人・店・まちなみ・物産品・素材・技術等の地域資源を活用して、大津の魅力を伝える「まちあるき」や、賑わいづくりに貢献する「大津百町百福物語ブランド認定商品」の販売支援により、まちなかの活性化や大津ファン拡大をめざしています。



Tool

活用している各種まちづくり制度

制度の種類	活用	締結・活用時期
①都市再生整備計画の提案	✓	2018年6月21日
②道路占用許可特例制度の活用		
③都市公園の占用許可特例制度の活用		
④都市利便増進協定の締結		
⑤都市再生整備歩行者経路協定の締結		
⑥低未利用土地利用促進協定の締結		
⑦公園施設設置管理協定の締結		



<https://www.machidukuri-otsu.jp>